

第五十六回帝國議會
衆議院

請願委員第一分科(內閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第二回

會議

昭和四年二月十八日(月曜日)午前十一時十分開議

出席委員左ノ如シ

主査 志波安一郎君

平井信四郎君

石井 次郎君

永田 良吉君

神部 爲藏君

小山邦太郎君

兼務

山下 谷次君

岸田 正記君

蔭山 貞吉君

野中 徹也君

小久江美代吉君

委員長 岡田伊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣恩給局長

下條 康麿君

臺灣總督府總務長官

河原田 稼吉君

臺灣總督府財務局長

富田 松彦君

樺太廳長官

喜多 孝治君

大藏省理財局長

富田 勇太郎君

大藏省銀行局長

保倉熊三郎君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員安原仁兵衛君 議員深水 清君

同 神田 正雄君 同 松井文太郎君

同 青木 精一君 同 斯波 貞吉君

同 川崎安之助君

大藏書記官 荒井誠一郎君

大藏書記官 野津高次郎君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 町村吏員恩給法制定ノ件(第一五六號)

二 恩給法中一部改正ノ件(第一九五號)

三 漢方醫術開業試驗法制定ノ件(第一四九號、第二一六號)

四 樺太中央橫斷鐵道敷設ニ關スル件(第二一〇號)

五 皇位並紀元算定ニ關スル件(第一三三號)

六 地租並營業收益稅委讓反對ノ件(第一三三號)

七 人造絹織物消費稅撤廢ニ關スル件(第二三三號)

八 貴石ノ輸入稅率引下ニ關スル件(第一八七號)

九 金融監督機關統一ニ關スル件(第一六三號)

一〇 萬國貨幣法統一ノ件(第一三三號)

〇 志波主査 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、第一議案ノ町村吏員恩給法制定ノ件、文書表ノ百五十六號ヲ議題ト致シマス、紹介議員ハ居ラヌデスナ

〇 山下委員 紹介議員ガ居リマセヌ、是ハ今マデニ出タコトモアルヤウニ思ヒマス

ガ、政府ノ方ノ御意見ハドウデアリマスカ、一寸聽イテ見タイト思ヒマス

〇 下條政府委員 只今議題ニ上リマシタ町村吏員恩給法制定ノ件ニ付キマシテ、政府ノ考ヲ申上ゲタイト思ヒマス、此請願ノ要旨ハ、町村ノ事務ノ中ニハ國家事務ガ多分ニアリマスカラ、其吏員ハ官吏ニ準ジテ取扱ヒ、其待遇トシテ、恩給法制度ヲ法律ヲ以テ設ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フ趣意デアラウト思ヒマス、現在國家ガ法律ヲ以テ恩給制度ヲ律シテ居リマスノハ、國家ノ官吏並官吏待遇者ニ限ッテ居ルノデアリマス、成程町村吏員ハ、其管掌スル事務ノ中ニ、多分ニ國家事務ヲ包含シテ居リマスケレドモ、現在ノ所デハ、マダ之ヲ以テ官吏又ハ官吏待遇者ト同一視スルト云フコトハ、無理デアラウト思ヒマス、假ニ此町吏員ニ付キマシテ、恩給法ヲ制定スルト致シマシテモ、現在ノ制度ノ權衡カラ推シマシテ、恐ラク其經費ト云フモノハ、地方費ノ負擔トナラナケレバナルマイト思ヒマス、隨ヒマシテ此點ハ、一面地方財政上ノ見地カラモ考慮ヲ費スベキ事項デアアルマイカト思フ、御

承知ノ通り町村ガ其條例ヲ以テ、其吏員ニ對シテ退職料等ノ恩給制度ヲ設ケマスノハ、是ハ自由デアリマスケレドモ、國家ノ法律ヲ以テ恩給制度ヲ設ケマスル上云フコトハ、是ハ尙ホ考慮ヲ要スル事項デアラウト考ヘテ居リマス

〇 山下委員 只今政府ノ御考ヲ承リマシタガ、幸ヒ紹介議員ガ今見エマシタカラ、紹介議員ノ説明ヲ承リタイ

〇 志波主査 紹介議員安原君、御説明ヲ願ヒマス

〇 安原仁兵衛君 此請願ノ件ハ、詳シクハ調べマセヌガ、前ニモ採擇ニナッテ居ルヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、ソレデ深ク説明ヲ要シナイデアラウト思フ、町村吏員ニ恩給ヲ與ヘルト云フノデ、頗ル重大ナ問題デアリマスガ、實行ノ點ニ付テハ、相當ナ難儀ナ點ガアルダウト思フ、併シ之ニ關聯致シマシテ、全國ノ町村長大會ニ於テモ、互助法デアルトカ、色々ノ研究ヲセラレテ居ルサウデアリマス、本件ニ付テハ實行ハ甚ダ不可能デアラウガ、兎ニ角御採擇ヲ願ヒマシテ、關聯致シマシテ、他ノ方法ヲ以テ研究ヲシテ貰フ基礎ニナルト存ジマスカラ、ドウカ委員會ニ於テハ、御採擇ニナランコ

トヲ希望致シマス

○山下委員 紹介議員ノ御説明モアリマス

シ、又政府當局ノ御意見ヲ承リマシタガ、政府ノ御考デハ、恩給ト謂ヒマスモノハ、官吏並ニ官吏待遇ノ者ニヤルベキモノデア

ル、町村吏員ハソレデナイカライケナイト云フコト、若シ恩給ヲヤルトスレバ、地方費デヤラナケレバナラヌカラ、地方費ガ膨脹シテ、逆モソレハヤルコトガ出来ナイ

モノデアルト云フ御意見デア、併シ町村吏員デモ、非常ニ不幸ガアルノデアリマシテ、富シダ所ノ町村吏員ハ、色々十名前

ヲ以テ、矢張恩給トハ申サレマセヌケレドモ、特別ナル待遇ヲサレテ居ル所モアル、又貧乏ナ町村デアリマスレバ、サウ云フコ

トモ出来ナイ、洵ニ不公平ニナッテ居ルノデアリマス、故ニ何トカ其處ヲ、町村吏員

ヲ優遇スルト云フ意味ニ於キマシテ、政府ニ一應十分ニ御考ヲ煩ハシタイト云フヤウ

ナ意味ヨリ致シマシテ、兎ニ角採擇ヲスル方ガ適當ダト思ヒマス

○志波主査 御意見ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○志波主査 御意見ナイト云フコトナラ

バ、採擇ト云フコトニ決シマス——議案第二號、恩給法中改正ノ件、文書表百九十

五號、之ヲ議題ト致シマス

○深水清君 私ヨリ紹介議員トシテ御願致

シマス、是ハ第五十一議會ニモ、既ニ建議案トシテモ、通過シテ居ルノデアリマス、ソレカラ能ク分リマセヌケレドモ、請願モ

第五十一議會ニヤリマシテ、一寸政府委員ニモ聞キマシタガ、分ラヌヤウデアリマス

ガ、矢張御採擇ニナツタト思ヒマス、是ハ洵ニ簡單ナ問題デゴザイマスガ、詰リ恩給法

ノ改正ニ依ッテ、一般ニ官吏ノ人ガ増額ニナッテ幸福ヲ受ケテ非常ニ結構デア、所ガ

改正ニナリマシタ第八十五條ノ第一項ニ斯ウ云フ文句ガアル、本法施行前給與事由ノ

生シタル恩給、退職料、遺族扶助料其ノ他之ニ準スヘキモノニ付テハ從前ノ規定ニ依

ルソコデ詰リ此改正前ノ恩給法ニ依ッテ、其年限ニ達シテ居リマスル者ハ、以前ノ恩

給法ノ適用ヲ受ケル、同ジ年限ヲ勤メマシテモ、此恩給法ノ改正前ニ其年限ニ達シテ

居タ者ダケハ以前ノ法ニ依ルト云フコトニナリマスカラ、現在ニ於テ非常ニ不公平

ナコトニナッテ居ル、例ヘテ申シマス、此改正恩給法ノ發布前二十箇年勤メテ居ル者

ハ、舊恩給法ニ依ッテ金高ガ少イ、若シ其當時マデ九箇年ダケ勤メテ居ッテ、マダ十箇

年ニ達シナイデ居ッテ者ハ、詰リ新恩給法ニ依ッテ多ク貰ヘルコトガ出来ル、同ジ官

吏デ居リナガラ、詰リ奉職ノ繼續年限ハ同ジデアッテモ、施行前ニ既ニ恩給法適用ニ

掛ッテ居ル者ダケガ、舊法ニ依ッテ不公平ナ

コトニナル、斯ウ云フノデアリマス、是ハ日本全國ノ、殊ニ下級官吏ニ對シマシテ非

常ナ苦痛ヲ與ヘテ居ル、同ジク例ヘバ巡查ナラ巡查ヲシテ居ッテモ、甲乙共二十五年ヲ

勤メテ居ルニ拘ラズ、一方ノ者ハ舊恩給法ノ適用ノ時二十箇年ニ達シテ居ル爲ニ、手

當ガ少イ、ソレマデ九箇年居ッテ、十箇年ニ達シテ居ラナカタ者ハ、新恩給法ニ依ッテ

手厚イ恩給ガ受ケラレル、實際ニ於テ非常ニ不公平ニナッテ居リマス、兎ニ角此恩給法

ノ改正ニナツタ精神カラ推シテ見テモ、其所ヘ甲乙ノ取隔ヲスベキモノデナイ同ジク奉

公ヲシテ居リナガラ、大變ニ厚薄ノ差ガアルカラシテ、此八十五條ノ第一項ヲ、兎ニ

角官吏トシテハ公平ニ恩典ニ預カルヤウナ御取扱ヲスルヤウナ規則ニ改正ヲ願ヒタ

イ、斯ウ云フ請願デアリマス、デ一昨日デアリマシタカ、此恩給法ノ改正ノコトニ付

キマシテハ、當局ノ政府委員ノ御答辯ト致シマシテモ、大變不備ナ所ガ澤山アルカラ

シテ、今恩給法ノ不備ノ點ニ對シテハ、研究ヲシテ不日改正ノ上ニ出スト云フヤウナ

御答辯ガアッタヤウニ、私承知致シテ居リマスノデ、定メテ此事モ其中ニ加ッテ居ルト

思ヒマスルガ、要スルニ今日御採擇ヲ願ヒマシテ、當局ノ御參考ニシ、是非共此八十

五條ノ第一項ハ公平ニ取隔テノナイヤウニ御取扱ヲ願フヤウナコトニ致シタイト思フ

ノデアリマス、ドウゾ一ツ是ハ一般ノ各府縣ノ下級官吏ニ特ニ大關係ノアル不公平ナ

コトニナッテ居リマスルカラ、ドウゾ一ツ御採擇ヲ願ヒマス

〔採擇ト呼フ者アリ〕

○志波主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○志波主査 採擇ニ決定シマス——議案第

三、漢方醫術開業試驗法制定ノ件、文書表ノ第四百九號、第二百十六號、一括シテ

議題ト致シマス

○神田正雄君 只今議題ニ上リマシタ漢方

醫術開業試驗法制定ノ件ハ、是ハ事臺灣ニ

屬シテ居リマスノデ、臺灣ハ御承知ノ通り我國ノ版圖ニ屬イテカラ三十餘年ニナリマ

スガ、民族ハ支那ノ民族デアリマシテ、漢方ハ從來ノ醫藥ノ唯一ノ方法デアッタノデアリマス、日本ノ版圖ニ屬シマシテカラ、

種々ナル點カラシテ、此漢方醫ノ試驗ハ臺灣ニダケハ施行スルト云フコトデ、明治三

十四年ノ七月ニハ試驗ヲヤッタノデアリマス、其後今日迄約三十年間ト云フモノハ、

試驗ヲシテ居ラナイノデアリマス、而シテ臺灣ノ狀況ハ、ドウデアアルカト申シマスレ

バ、四百万人ノ人口中三百八十八万人ト云フモノハ本島人ト申シマシテ、支那民族ノ系統

ニ屬シテ居ル者デア、此人達ハ從來ノ關係カラト、經濟上ノ關係カラ致シマシテ、

係カラト、經濟上ノ關係カラ致シマシテ、

ドウシテモ漢方醫デナイト承知シナイノガ
多イノデアリマス、然ルニ明治三十四年ノ
七月ニ試験ヲシテ採用シタ人達ハ、今日三
十年ヲ經テ居ルカラ、年寄バカリニナッテ
居ル、ソレモ人數ハ僅ニ四百五十六人、三
百八十萬人ノ人ガ掛ルノニ四百五十六人シ
カ漢方醫ガナイト云フ有様デアリマス、而
モソレ等ノ漢方醫ハ全然廢メテ居ルカト申
シマスレバ、賣藥業草根本皮ト云フテハ惡
イノデアリマスガ、漢方醫ノ藥ト云フモノ

ハ非常増加致シマシテ、最初ハ極ク少ナカッ
タモノガ本年デハ三千九百九十九軒モ此漢
方藥ヲ賣ル店ダケハ許可シテ居ルノデアリ
マス、而モ是ハ漢方醫ガ處方箋ヲ出サナケ
レバ、其藥ヲ賣レナイト云フヤウナ狀況ニ
ナッテ居リマスノデ、漢方醫ハ少イ、藥屋ハ
多イト云フノハ、總テノ點ニ於テモ矛盾ヲ
シテ居リマス、今度臺灣ノ人達ガ一面ニ於
テハ川原茂輔氏ノ手ヲ經テ千六百名モ請願
ニ調印ヲシテ參リ、又私ノ方ニモ同様ノ意
味ノ請願ニ於テ、多數ノ人ガ是非漢方醫ノ
開業試験ヲ今一遍開クヤウニシテ貰ヒタイ
ト云フ請願ガ參ッテ居リマス、是ハ如何ナ
ル點カラ見マシテモ、臺灣ノ狀況カラ推シ
テモ、總テノ點カラ此臺灣ノ人ガ新附ノ民
トシテ日本ニ屬ク上ニモ、斯ウ云フコトハ
寛大ナ取扱ヲ願ヒ、斯ウ云フ方面ニ於テ漢
方醫ノ試験ヲ再開シテヤルコトハ、島民ノ

喜ビハ勿論ノコトデアリマスシ、統治ノ上
カラモ、實際ノ上カラモ、臺灣ノヤウナ僻
遠ノ地ニハ新シイ醫者ガ十分ニ行キ廻ルコ
トハ出來ナイノデアリマスカラ、本島人ノ
保健ノ上カラモ、斯ウ云フ請願ハ採擇シテ
下サルヤウニ願ヒタイト思ヒマシテ、今日
御紹介致シタ次第デアリマス、ドウカ御審
議ノ上御採擇アラントウ切望致シマス

〔採擇〕ト呼フ者アリ

○陸山委員 神田君ノ御説ハ誠ニ御尤ナ同
情スベキ點モ多イノデアリマスガ、併シ一
面考ヘマスト、漢方醫ヲ澤山拵ヘルト云フ
コトハ、何方カト云フト、漢方醫ト云フ名
ニ隱レテ、或ハ下手ナ藥ノ盛方ヲシテ人命
ヲ損スルト云フヤウナ、藥ヲ服マヌ方ガ却
テ宜カッタト云フヤウナコトニナル程度ノ
事ガ多イノデアリマス、又臺灣ハ本土ト特
ニ事情ヲ異ニシテ居リマシテ、色々其他ノ
臺灣ノ議會設置トカ云フヤウナ色々方面
ト、斯ウ云フ方面ハ餘程關係ガアルヤウニ
考ヘラレルノデアリマス、ソレデ私ハ御紹
介ノ方ノ御意見ハ御尤デアリマスガ、臺灣
ノ總督府デ一應能ク其實情ヲ調査シテ、如
何ニスレバ宜イカト云フ意味ニ於テ、之ヲ
參考送付ニシタラドウカト思フノデアリマ
ス

〔賛成〕異議ナシト呼フ者アリ

○小久江委員 私ハ採擇スベキモノダト云

フ意見ヲ申上ゲタイノデアリマス、此問題
ハ政黨政派ニ關係ナク、矢張政友會ノ方ノ
川原茂輔君カラモ御紹介ニナッテ居ルノデ
アリマス、是ハ臺灣人ノ人道上カラ由々シ
キ問題ト考ヘルノデアリマス、只今陸山君
カラハ若シ漢方醫ヲ許可シタ場合ニ於テ
ハ、惡イ藥ノ盛方ヲシテ、或ハ弊害ヲ生ジ
ハセヌカト云フヤウナ御議論モアッタノデ
アリマスガ、是ハ取締上ノ問題デアッテ、

サウ云フ事ハ矢張内地ニ於ケル西洋醫ニ於
テモ絕對ニ無イト云フコトハ言ヘナイ、取
締サヘ勵行スレバサウ云フコトハ絕對ニ無
イト私ハ考ヘテ居リマス、ソコデ西洋醫ノ
普及ヲ圖ルト云フコトハ必要デアリマセウ
ガ、併ナガラ人情風俗ノ上ニ於テ漢方醫ヲ
崇拜シテ、漢方醫デナクチャイカヌト云フ
場合ニ於テハ、矢張漢方醫ノ取締ヲ勵行シ
テ、而シテ之ヲ採用スル試験モ嚴重ニシテ、
政府ニ於テ監督スレバ、矢張西洋醫同様ノ
醫術ヲ普及スルコトガ出來ルト思ヒマス、
神田君ノ御説ニナッテ趣旨ハ御尤デアリマ
シテ、採擇スベキモノト考ヘテ居リマス
○志波主査 別ニ御意見ハアリマセヌカ
○岡田委員 此事ハ臺灣ノ實狀ニ就テ此場
合一應總督府ノ方ノ御意見ヲ伺ヒマシテ、
其上ニ致シタイト思ヒマス

○河原田政府委員 此問題ノ前ニ私ハ一應
前提トシテ申上ゲタイノハ、從來總督府ノ

臺灣統治ノ方針ト云フモノハ、申ス迄モナ
ク如何ニシテ臺灣四百萬ノ島民ヲ幸福ニ導
イテ行クカト云フコトニ出發シテ居ルノデ
アリマス、領臺以來御承知ノ通り三十年ヲ
經テ居リマスケレドモ、其間ニ臺灣ニ於ケ
ル文化産業其他ノ發達ト云フモノハ、非常
ニ著シイモノガアリマス、是ハ私が申ス迄
モナク、産業ノ上ニ於テモ、衛生ノ上ニ於
テモ、殊ニ衛生方面ノ發達ト云フモノハ實
ニ驚歎スベキモノガアルヤウニ思ヒマス、

領臺以前領臺後暫クノ間ト云フモノハ、御
承知ノ通り臺灣ノ風土病デアル「マラリア」
トカ「ベスト」トカ云フヤウナモノガ盛ンデ
アッテ、其他萬般ノ病氣ト云フモノガ非常ニ
猖獗デアッタノデアリマス、日本ノ土地ニ歸
シテカラ殆ド「ベスト」ノ如キハ絕對ニ無イ
「マラリア」ノ如キモノモ、是亦山間僻地、
極ク僻陋ノ地ニ於テ其跡ガアリマスガ、都
會其他ノ所ニ於テハ殆ド其跡ヲ絶ッテ居ル、
斯ウ云フヤウナ狀態デアリマス、是ハ全ク
日本ノ所謂仁政ノ結果デアル、斯様ニ申シ
テ宜イノデハナイカト思ヒマス、現ニ近頃
大分外國人アタリガ視察ニ參リマスルガ、
日本ノ植民地統治ハ非常ニ成功シテ居ルモ
ノデアル、過日例ノ獨逸大使ノ「ゾルフ」博
士ガ歸國前ニ臺灣ヲ長ク觀テ歩キマシタ
ガ、先生ハ申ス迄モナク植民地學ノ泰斗デ
アリマスルガ、多少ノ御世辭ガアルカモ知

レマセヌガ、要スルニ日本ノ臺灣統治ト云フモノハ殆ド植民史上ニ於テ稀ニ見ル所デアル、斯様ニ異人種ヲ治メルニ付テ其親切ナル點ニ於テ實ニ驚クベキモノデアルト云フコトヲ申シテ參ッタノデアリマス、デ根本ノ方針ト云フモノハ要スルニ私ハ島民ヲ如何ニ幸福ニ導クベキカト云フ所ニ出發シテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ其方針ノ下ニ、場合ニ依テハ所謂此教育ノ進ンデ居ラヌ島民ニ對シマシテ、必シモ其意思ノ儘ニヤッテ行クト云フコトハ出來ナイノデアリマス、只今問題ニナッテ居リマスル醫師ノ問題デアリマスガ、是ハ明治三十四年ノ府令ヲ以テ一ノ資格ヲ認メラレタノデアリマスルガ、是ハ所謂内地ニ於ケル限地開業ノヤウナモノデ、唯偶、領臺以來間モナイ時デアリマシテ、唯一回限り、即チ明治三十四年一ニ時其從來ノ經驗家ヲ漢方醫トシテ業務ニ就クコトヲ認メルト云フコトニシマシタノハ全然其時限リデアルノデアリマス、其府令ノ内容ヲ見マシテモ、全ク其時限リト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ要スルニ大局カラ考ヘマシテ、衛生ノ發達、島民ノ幸福ヲ圖ルニハ、ドウシテモ近代醫事ノ方法ニ依テヤッテ行カナケレバナラヌ、固ヨリ漢方醫學ニ付キマシテモ、其採用スベキ良イ所ハ採ルコトハ固ヨリ結構デアリマスルガ、根本方針トシテモ、苟

モ人命ヲ扱フ、人ノ生命ニ重大ナル關係ヲ持ッテ居リマスル醫者ト云フモノハ、ドウシテモ其基礎醫學ニ基イテ居ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ所カラ出發シテ居リマスルノデ、大體ノ方針ハ日本ニ於キマスルト同様ノ醫者ト云フ者ガ、相當ノ資格、相當ノ素養ノアル、而モ近代醫術ノ素養ノアル者ヲ原則トシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ所カラ來テ居ルノデアリマス、是ハ言フ迄モナク總督政治トシテハ如何ニスレバ臺灣島人ノ幸福ヲ圖リ得ルカト云フ所カラ出テ居ル次第デアリマスルノデ、何等特殊ノ臺灣人ヲ壓迫スルトカ云フヤウナ關係ハ絶對ニナイノデアリマス、デアリマスルカラ此方針ハ何處迄モ必要ナコトデアリマシテ、時々ハ漢方醫ヲ——漢方ノ方ヲ望ム者ガアリマシテモ、全體ノ大局カラ見マスト云フト、ドウシテモ此基礎醫學ノ素養ヲ得タ者ヲ根本トシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、現在サウ云フ趣旨カラシテ御承知ノ通り官立病院トカ云フ物ハ相當ノ數ガアリマスルシ、又其他開業醫ノ數モ段々殖エテ參リマス、殊ニ都會地其他ニ於キマシテハ總督府ノ設立ノ病院等ガアリマスルガ、農村其他ノ僻陋地ニ於キマシテハ公醫ト云フ制度ヲ置イテ、一定ノ資格、基礎醫學ノ素養ノアル者ヲ以テ公醫ト云フモノニ任ジテ、サウシテ開業ノ義務

ヲ負擔セシメテ、醫藥ニ當ラシメテ居ルト云フ次第デアリマス、人口ト醫者トノ割合ハ是ハ内地ニ較ベマスルト云フト、固ヨリ少イノデアリマスレドモ、併シ一方ニ於キマシテ朝鮮其他ニ較ベマスルト云フト、遙ニ醫者ノ數モ多イ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、夫ヤ是ヤヲ考ヘマシテ將來益、臺灣島民ノ衛生ヲ改善シテ行キ、又之ニ依ッテ其幸福ヲ増進シテ行クト云フ上カラ申シマスルナラバ、ドウシテモ此基礎醫學ノ素養ノアル者、斯ウ云フコトヲ原則トシナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、固ヨリ漢方ノ療法ト云フモノニ付キマシテハ、是ハ讚稱スベキ事ハ相當アルデアラウト云フコトハ、是ハ疑ナイノデアリマスルガ、今日不完全ナル此十分ニ素養ノ無イ醫者ヲ認メテ行クト云フコトハ、今日ノ時勢ニ於テ如何ナモノデアラウカト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○野中委員 今政府委員ノ御答辯ニ依リマスレバ、大體此問題ニ對シテハ臺灣當局ノ方ハ御反對ノヤウナ御考デアリマスルガ、其理論トシマシテ、第一ニ私ガ考ヘテ見マスルノニ、第一ニ基礎醫學ガ本デアル、基礎醫學ヲ學ンダ人デナケレバ所謂醫者トシテ取扱ラスルコトガ出來ヌト云フヤウナ事柄ガ根本ノ點デアル、ソレニ附加ヘマシテ植民政策上ノ問題トシテ、多少表向ニ出來ナ

イヤウナ事柄ガアルノデヤナイカト思ハレル節ガアリマスルガ、何レニ致シマシテモ、一體根本ガ基礎醫學ノ問題デアリマスガ、要ハ之ヲ如何ニ試驗スルカト云フ點デハナイカ、詰リ醫師志望者ニ對シテ如何ナル試驗ヲ行フカ、詰リ試驗ヲ行フコトニ依テ所謂基礎醫學ヲ學ンダ醫者トスルコトガ出來ヤシナイカ、殊ニ現在ニ於キマシテハ、西洋醫術ガ全盛ノ極ニ達シテ居ルヤウデアリマシテ、所謂現代科學尊崇ノ弊ガ殊ニ醫者ノ方ニ現レテ居ルヤウニ見エル、元來此治療或ハ醫術ト云フモノハ唯物的ノ或ハ科學的ノモノガ根本デアリマスルガ、更ニ其奧ニ這入ッタナラバ精神ノ問題デハナカラウカ、詰リ精神ノ問題ガ中心トナッテ、サウシテ之ニ科學的ノ色々ナ分子ガ加ッテ、或ハ治療セラレ、或ハ治ルト云フヤウナコトニナルノデハナイカト思ヒマスルカラ、此醫者ノ或ハ醫術ノ根本デアル精神ノ問題ニ考ヘテ見テ、臺灣ノ人カ近代ノ教育ヲ受ケタ所ノ醫者ヨリモ、寧ロ漢方醫ノ方ヲ欲スルト云フナラバ、是ハ適當ナル試驗ヲシタ上ニ於テ、此醫者ヲ開業セシムルコトガ、最モ臺灣人ノ幸福ヲ増ス所以デアラウト考ヘマス、ソレデアリマスカラ政府委員ノ反對理由デアリマスル所ノ基礎醫學ハ、要スルニ試驗ノ方法ノ問題デアル、又其他本當ノ醫者ノ治療ト云フコトノ根本方針

ガ、精神的ノモノデアルトスルナラバ、此

方面カラ考ヘテ見テモ、要スルニ臺灣ノ方ニ於テモ漢方醫ヲ開業サセルト云フコトガ相當ナコトデハナイカト考ヘテ居リマスル、本案ハ採擇アラコトヲ私ハ希望スル次第デアリマス

○山下委員 ドウモ採擇ニ賛成ト不賛成ト兩方ニ分レテ請願委員會ノ本旨ニ背クヤウデアリマスルカラ、此次ノ午後ニアリマスル國立皇漢醫方研究所設立ニ關スル件、此方ノ皇漢醫ヲ許可スルト云フコトガマダ極ラヌ位ノ時ニ、之ヲ極メルト云フコトハドウカト思ヒマスルカラ、午後國立皇漢醫方研究所設立ニ關スル件ト云フモノガ極々後ニ之ヲ議スル方ガ順序ダト思ヒマスルカラ、一時御延シノ程ヲ願ヒマス

○志波主査 今御意見ガ出テ居ルノハ、採擇ト參考送付ト、延シタイト云フノト、三ツアルヤウデアリマス、採決致シマス、延スト云フコトニ御賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔賛成者 起立〕

○志波主査 少數、ソレデヤ參考送付ニ賛成ノ方ハ起立

〔賛成者 起立〕

○志波主査 同數デスネ——同數デアルトスレバドウデス、モウ少シ延シマシテハ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○志波主査 御異議ナシト認メマスカラ保留致シマス、第四、樺太中央橫斷鐵道敷設ニ關スル件、文書表二百二十號、中井紹介議員——見エマセヌカ

○陸山委員 中井君ガ下ノ委員會ニ行クト云フコトデ、私ニ説明シテ呉レト云フコトデアリマシタカラ申上ゲマス、兎ニ角樺太ノ中央部ニ鐵道ヲ敷カヌト云フト、兩方ノ交通ガ完全ニ行カナイ、ソレニ對シテ茲ニ請願ヲ出シタノデアリマス

○喜多政府委員 此中央橫斷鐵道敷設ノ必要ハ當局ニ於テモ認メテ居リマス、所ガ丁度此請願ニナツテ居リマスル地點ト極ク近イ所ニ名好、眞縫間ヲ連絡スルノト、ソレカラモウツハ久春内、眞縫ヲ連絡スルノト——前ノ方ハ樺太中央鐵道株式會社ト云フモノカラ敷設ヲ許シテ呉レト云フ出願ガゴザイマス、後ノ方ハ眞久鐵道株式會社カラ敷設ヲ許シテ欲シイト云フ出願ガアルノデス、丁度泊居白浦ト云フ請願ノト殆ど地點ガ相似タルモノデゴザイマスガ、應ト致シマシテハ、從來久春内眞縫ガ確定のモノデハゴザイマセヌデシタケレドモ、先ヅ豫定線ノ如キモノニナツテ居タノデアリマス、併シ今請願ノ出テ居リマスル線ナリ、先ニ申シマシタ名好眞縫トカ、久春内眞縫、三線トモ能ク實査ヲ致シマシタ

上決定致シタイト考ヘテ居リマス、必シモ價值ノナイ所デハナイノデ、私共ノ調査ノ範圍ニ入レテ居ルノデゴザイマスカラ、參考トシテ御採擇ニ相成リマスル事ハ、應ト致シマシテ何等支障ハゴザイマセヌ

○山下委員 ソレデハ請願ノ趣旨ノ通りノ線路デナクテモ宜シウゴザイマスカラ、現在問題ニナツテ居ル三線中何レデモ宜シウゴザイマスカラ、政府ガ御調査ノ上ニ、所謂橫斷鐵道ヲ敷設シテ下サレバ、吾々ノ願意ハ達スル譯デアリマスカラ、ドウゾ御採擇ヲ願ヒマス

○志波主査 御意見アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○志波主査 ソレデハ採擇ニ決定致シマス、——次ハ第五、皇位並紀元算定ニ關スル件、百三十四號、紹介議員ハ居リマスカラ

○山下委員 是ハ紹介議員モオイデニナラヌヤウデアリマスカラ、政府參考送付ニ御願致シタイト思ヒマス

○永田委員 紹介議員ハ居ラレマセヌケレドモ、私ハ本案ハ採擇ヲ希望スルノデアリマス、其理由ヲ申上ゲマスガ、此請願ノ趣旨ニ書イテアル通り、特ニ此問題ハ私ノ郷里ノ地方ニ關スル問題デアリマスガ、私ハ此事ニ付キマシテハ、相當研究モ致シタノデアリマス、要スルニ神武天皇ノ御即位ノ年ヲ紀元ニスルヨリモ、モット天孫降臨ノ

時代、或ハ邇シテ天照大神ノ御出現ノ年ヲ以テ紀元トシタ方ガ、日本ノ國體ノ尊嚴ノ上カラ言フテモ非常ニ結構ナ事ト思フノデアリマス、現ニ我ガ鹿児島縣ニハ、神代ノ山陵モ三ツトモ嚴存シテ居リマス、尙ホ其神ヲ祀テアル神社モ宮幣大社ガアルノデアリマス、其他ノ史蹟ヲ考ヘテ見マシテモ、考古學デアルトカ、或ハ人類學等各學科ノ進歩ノ程度カラ判斷シマス、最早ヤ神武天皇御即位ノ年ノ前ニ邇シテ、神代ニ於ケル年代モ明ニナルモノト信ズル一人デアリマス、此理由カラ是非本案ハ御採擇ヲ願ヒタイノデアリマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○志波主査 御議論ガナイヤウデスカラ採擇ニ決定致シマス——第六、地租並營業收益稅委讓反對ノ件、八十三號

○神部委員 紹介議員ハ見エマセヌケレドモ、此問題ハ文書表ノ理由ヲ讀ンデ見マス、現政府ト致シテ、今法案モ出テ居ル頗ル重大ナ問題デアリマス、政府ハ無論賛成サレル氣遣ハナイト思ヒマスガ、私ハ先ヅ參考送付トシテ置イタラドウカト思ヒマス

○山下委員 地租並營業收益稅ハ現政府ニ於テ委讓スル事ニ確定シテ御案ガ出テ居ルノデアリマスカラ、是ハ參考送付ニシタ所ガ何ノ效果モナイダラウト思ヒマスカラ、當然是ハ不採擇ニシタ方ガ宜カラウト思ヒ

マス

○志波主査 是モ此次ノ會延延スコトニシテハ如何デスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○志波主査 延期ニ決シマス―第七、人造絹織物消費稅撤廢ニ關スル件、二百三十三號

○青木精一君 紹介議員トシテ御説明ヲ申上ゲマス、先ヅ御諒解ヲ願フテ置カナケレバナラヌノハ、此請願ハ紹介議員名義ハ私ト民政黨ノ飯塚春太郎君ト二人ニナッテ居リマスガ、尙ホ松井文太郎君、實業同志會ノ河崎助太郎君、藤治庄平君等、織物地ニ關係アル代議士諸君ハ黨派ノ如何ニ拘ラズ、此案ニ付テハ諒解ヲ得テ居ルノデアリマス、人造絹織物ガ近來非常ニ發達ヲ致シテ日常必需品トシテ用ヒラレルヤウニナッタ云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、ノミナラズ海外へ―支那、印度、南洋、又滿洲、朝鮮方面ニ移出或ハ輸出ノ數量ハ年々増加ヲ致シテ居リノデアリマス、サウシテ海外市場ニ於テハ英、米、獨逸等ノ人造絹織物ト非常ナル競争ヲ致シテ、市場ノ日本ノ人造絹織物ノ勢力ト云フモノハ段々擴張サレテ居ルノデアリマス、然ルニ唯茲ニ遺憾ナコトハ、此人造絹織物ト他ノ織物トノ關係ニ於テ、木綿織物ハ消費稅ヲ全廢サレテ居リマスガ、木綿織物ト殆ト同ジニ内地ニ需要サレテ居

ル人造絹織物ハ、絹織物扱ヲサレテ居テ税金ヲ取ラレル、輸出品ニ對シテハ勿論税金ヲ免除致スノデアリマスガ、其徵稅ノ手續ニ非常ニ面倒ヲ當業者ガ蒙ッテ居ルノデ、ソレガ爲ニ輸出品ニ付テモ商機ヲ逸スル場合ガ多イト云フノデ、當業者ハ此人造絹織物ニ對シテハ、木綿織物ト同様ノ取扱ヲ以テ免税ヲシテ戴キタイ、是ガ請願ノ趣意デゴザイマス、實際今日人造絹織物ハ絹織物ト競争者デハナイノデアリマス、木綿織物ノ一歩進シタ餘處行ノ著物位ニ國民ノ間ニ用ヒラレテ居ル、此人造絹織物ノ著物ニ厭キタ者ガ絹織物ニ移ルト云フ、中間ヲ行ッテ居ル需要狀態ニナッテ居ルノデアリマス、デスカラ此人造絹織物ノ織物ヲ木綿織物ト同様ノ免税ヲ致シタ所ガ、其打撃ヲ決シテ絹織物ガ受ケルノデハナイノデアリマス、此請願ノ趣意ハ税金ヲ課ケラレルガ爲ニ、海外へ非常ニ有望ニ今發展シツ、アル輸出ガ、商機ヲ逸シテ輸出力發展上ニ非常ニ故障ヲ來シテ居ルト云フ點デ、是非木綿織物ト同様ノ取扱ヲ以テ免税ヲ致シ、内地消費稅者ニ對シテモ一種ノ社會政策的ノ精神ヲ以テ、税金ヲ課ケナイ織物トシテ、庶民階級ニ廣ク用ユルヤウニ致シタイト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマシテ、麻トカ毛絲ノ混織シタモノデアレバ免税ヲ致シテ居ル、サウシテ人造絹織物一本入ッテ居テモ、是ハ免

稅ヲ許サナイト云フノガ今日ノ實際ニ相成ッテ居ル、ソレカラ綿織物デ一反五圓乃至八圓ヲ超エル品物デモ免税サレテ居ッテ、人造絹織物反ガ二圓乃至三圓程度ノ物デモ課稅ヲセラレルト云フ實狀ニ在ルノデゴザイマシテ、頗ル不合理ノ取扱ヲ受ケテ居ルノデス、故ニドウカ此人造絹織物ハ一般的ニ木綿織物ト同様ノ取扱ヲ致シテ、免税ヲ致シテ、一面ニ於テ内地消費者ノ爲ニ利益ヲ圖ルト共ニ、最モ必要ナル所ノ海外市場ニ此人造絹織物ガドシ―輸出セラレテ、支那、印度、滿洲、南洋方面カラ、日本ノ人造絹織物ガ外國ノ人造絹織物ヲ驅逐スルコトニ助成致シテ行カナケレバナラヌト思ヒマスカラ、請願ノ趣意ヲ御諒解下サイマシテ、又請願者ハ各派カラ出テ居ル、サウシテ諒解ヲシテ居ルト云フ點ヲ御諒解下サイマシテ、此請願ヲ御採擇アラシコトヲ切ニ御願スル次第デゴザイマス

○山下委員 此人造絹織物ノ消費稅ヲ撤廢致シマシタナラバ、ドレ程此收入ニ影響スルカ、且又政府當局ノ御意見モ承テ見タイ

○野津大藏書記官 人造絹織物ハ天然絹織物ト同様ノ目的デ使用セラレテ居リマス、人造絹織物ニ免税致シマス、權衡上天然絹織物ノ方ニモ免税シナケレバナラヌト云フコトニナル、隨ヒマシテ現在人造絹織物ヲ使用シテ居リマス織物ニ對スル稅額ノ、算用減ヲ致シテ參リマス、延イテ天然絹織物ノ織物ニ對スル税金モ亦免税シナケレバナラヌト云フ關係ニナッテ參リマシテ、算用ノ關係カラモ、政府トシテハ贊成ガ出來ナイヤウナ關係ニナッテ參リマス、ソレカラ現在ニ於キマシテハ、海外ニ輸出スルモノニ對シテハ免税スルコトニナッテ居リマスガ、人造絹織物ニ對シテ課稅致シテ居リマスル關係上、海外輸出ヲ妨ゲルト云フ御話モアリマスケレドモ、其點ハ現在ニ於キマシテ成ルベク輸出業者ノ便宜ヲ計リマシテ、阻害シナイヤウニ努メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ天然絹織物色ニ綿織物ニ混織シタ物ニ對シテ―麻トカ毛織物トカ云フモノニ對シテ、百分ノ五以内ノ混織シタモノハ免税シテ居ルケレドモ、人造絹織物ヲ混織シタモノニ對シテハ免税シナイ、斯ウ云フ狀態ニナッテ居リマスガ、是ガ宜シクナイト云フ御話デゴザイマスケレドモ、元來人造絹織物ハ天然絹織物ト同様ノ目的デ、比較的奢侈的ナ織物ニ對シテ使用サレテ居リマスノデ、之ヲ免税スルト云フコトハ、天然絹織物トノ關係上宜シクアリマセヌシ、又人造絹織物ヲ、少シデモ混織ヲシマシタモノ―今ノ五「パーセント」以内ノモノ、麻トカ毛織物トカ綿織トカト混織ヲシマシタ物ハ免税シテ居ルノデゴザイマスガ、人造絹織物ニ付キマシテハ、其混織シタモノハ五

「パーセント」以内、或ハ是レ以上ト云フヤ
ウナ區別ハ技術上甚ダ困難デゴザイマシ
テ、其點カラモドウモ面白クナイト思フノ
デアリマス、ソレカラ人造絹絲ハ非常ニ價
格ガ安クナラ、殆ド絹絲ト同ジヤウナ價格
デアルト云フ御話デゴザイマシタケレド
モ、其點ハ同ジ太サノ人造絹絲ト雖モ、綿
絲ト比ベテ人造絹絲ハ、綿絲ニ對シテ、約
二倍乃至三倍ノ高價ヲ維持シテ居ルノデゴ
ザイマス、ソレカラ人造絹絲ノ織物ガ綿織
物ヨリ價格ガ安イ物ガアルト云フヤウナ御
話デゴザイマシタケレドモ、例外トシテハ
サウ云フモノモ多少アリマセウケレドモ、
全體ト致シマシテハ、人造絹絲ノ方ガ綿織
物ヨリモズト高クナラテ居ルノデアリマシ
テ、一般ノ人造絹絲ノ織物ハ比較的高級
品トシテ、中等以上ノ階級ニ主トシテ使用
サレテ居ルヤウナ關係ニナラテ居リマス、政
府トシテハ同意ヲ致兼ネマス

○山下委員 政府ノ御考ト、紹介議員ノ説
明トハ根本ニ於テ違テ居ルヤウニ思フノ
デアリマス、私共ハ紹介議員ノ説明ガ正シ
イト思ヒマス、人造絹絲ト云フモノト、天
然絹絲トハマルキリ違フノデアリマシテ、
吾々ハ人造絹絲ハ木綿ト殆ド同等ニ考ヘテ
居ルノデアリマス、其意味ヨリ致シマシ
テ、私ハ尙ホ政府ニ能ク御研究ヲ願ヒタイ
ト云フ意味ニ於キマシテ、御採擇ニ願ヒタ
イト思ヒマス

○小久江委員 稅率ハ天然絹絲ト人造絹絲
トドウ違テ居ルノデスカ
○野津大藏書記官 同ジデス
○志波主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○志波主査 採擇ニ決シマス、次ニ第八、
貴石ノ輸入稅率引下ニ關スル件、第八十七
號——斯波貞吉君

○斯波貞吉君 私、紹介議員トシテ説明致
シマス、此請願ハ、現行舊澤品關稅法中ノ
貴石、主トシテ「ダイヤモンド」ヲ撤廢シ
テ、舊稅率ノ五分ニ引下ゲテ戴キタイト云
フ請願デゴザイマス、其趣旨ハ、會テ此
「ダイヤモンド」ハ五分ノ稅率ヲ五割ニ引上
ガラレタコトガアッタノデアリマス、併シ稅
ノ收入ニ於キマシテモ、何等増加致シマス
コトガアリマセヌデ、密輸入ノ爲ニ却テ犯
罪者ヲ増加シテ弊害ヲ生ズルト云フノデ、
又五分ニ引下ガラレタノデアリマス、ソレ
ガ大正十三年ニ、從價十割ニ急ニ引上ガラ
レタノデアリマス、從價十割ニ引上ガラレ
マシタ結果、矢張關稅收入ハ増加致シテ居
リマセヌ、一方ニ密輸入ガ非常ニ増加スル
ヤウニナッタノデアリマシテ、何レノ國デモ
斯様ナモノニ對シマシテハ、稅率ガ非常ニ
低クナラテ居ルノデアリマス、稅ガ多クナレ
バナル程犯罪者ガ殖エルト云フヤウナコト

デ、稅ヲ引上ダルト云フコトハ、徒ニ密輸
入ヲ増加スルダケノ結果ニ終ルノデアリマ
ス、殊ニ「ダイヤモンド」ハ昔金ヲ貯蓄シ
テ居タト云フ風習ガ、今日ニ於キマシテ
ハ、金ヲ貯蓄スルコトガ出來ナイ爲ニ「ダ
イヤモンド」ナドヲ貯蓄ヲ致シテ家實トス
ルヤウナ傾向ニナラテ居リマスルシ、又工業
ニモ、例ヘバ電球ノ「タングステン」ヲ造
ルノニハドウシテモ「ダイヤモンド」ヲ用
ヒナケレバナラヌト云フヤウニ、工業ナド
ニモ用キレラルヤウニナリマシテ、何レニ
致シマシテモ、斯様ナモノヲ輸入致シマス
ル正當ノ業務者ニアリマシテハ、非常ニ關
稅ノ高イト云フコトガ害ニナラテ居ルノデ
アリマシテ、「ダイヤモンド」ノ稅率ヲ引上
ダルト云フコトハ、一ツモ國家ニ取リマシ
テモ、一般ノ民間ニ取リマシテモ、利益ノ
ナイコトデアアルカラ、元ノ稅率ニ引下ゲテ
戴キタイト云フノガ本請願ノ趣旨デアリマ
ス、何卒御採擇アラシコトヲ願ヒマス
○志波主査 本案ニ付テハ、政府委員ノ説
明ヲ聽キタイト云フノデ今呼ビニ行テ居
リマスカラ、一寸中止ヲ致シマス、次ニ讓
リマス、日程第九、金融監督機關統一ニ關
スル件、第百六十三號——紹介議員川崎君
○川崎安之助君 本請願ノ要點ハ、是迄信
用組合ナルモノガ農林省ノ管轄ニ屬シテ居
リマス、隨テ府縣廳ナドニ於キマシテモ、

農林ノ關係ニアル所ノ人ガ金融ノ狀態ナド
ヲ監督シテ居ル爲ニ、色々ノ不都合ヲ來シ
テ居ル、例ヘバ預金ヲ吸收スル爲ニ、無暗
ニ利率ヲ高クスルトカ、或ハ又役員ガ多大
ナ金ヲ使フト云フヤウナコトガアリマシ
テ、餘程取締上不都合ヲ來シテ居ルヤウ
ニ思ヒマス、故ニ之ヲ大藏省ノ所管ニ、即
チ產業組合ノ金融ニ關スルコトダケハ、大
藏省ノ所管ニ移ス方ガ餘程監督ガ行届クデ
アラウト思ヒマス、サウスレバ府縣廳ニ於
テモ商工課トカ、或ハ勸業課トカ、銀行ノ
方ニ關係シテ居ル人ガ之ヲ取締ルコトニナ
レバ、隨テ預金ノ利子ナドモ銀行ト協定シ
テ、徒ニ競争シナイト云フヤウナコトニモ
ナリ、又役員ガ不仕繕ナコトヲスルコトモ妨
ゲララウト思ヒマス、町村制ノ上カラ見
マシテモ、總テノ事ハ内務省デ監督シテ居
リマスケレドモ、財政ノ事ハ矢張大藏省ガ
ヤラテ居ルノデアリマスカラ、此點カラ見マ
シテモ、產業組合ヲ二ツノ省ノ管轄ニ屬セ
シムルモ、實際ノ上ニ於テ決シテ支障ハナ
イコトデアラウト思ヒマス、寧ロ前申シマ
ス如ク、其方ガ信用組合ノ助長發達ヲ圖ル
コトニナルデアラウト思ヒマス、是ガ本案
ノ要旨デアリマス、ドウカ御採擇ヲ御願致
シタイノデアリマス
〔「採擇々々」ト呼フ者アリ〕
○志波主査 採擇ニ御異議ガナイヤウデス

カラ採擇致シマス、日程第十萬國貨幣法統一ノ件、百三十二號

○山下委員 紹介議員ガ居ラレヌヤウデアリマス、且又此問題ハ理論上最モ宜シウゴザイマスガ、實行出來ル問題デハナイノデアリマスカラ參考送付ニ御願致シマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○志波主査 御異議ナイヤウデアリマスカラ參考送付ニ決シマス

○荒井大藏書記官 貴石ノ輸入税引下ニ關スル政府ノ意見ヲ申上ゲマス、請願ノ理由

トスル所ハ「ダイヤモンド」ハ金ニ劣ラズ通貨ノ代用トモ見ルベキモノデ、又是ハ年々價格モ上テ行キマスカラ、寧ロ國內ニ澤山入レテ置イタ方ガ國ノ爲ニ利益デハナカラ

ウカ、斯ウ云フコトモ一ノ理由ニナッテ居リマスガ、併シ御承知ノ通り通貨ノ代用トナル諸條件ガ缺如シテ居リマシテ、寧ロ裝飾品ト見テ尊重セラレテ居ルコトデアリマスカラ、替澤品ト見マシテ今替澤關稅ガ存シ

テ居リマス間ハ、矢張替澤稅ヲ課スルコトガ適當デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又此寶石類ニ付テハ、税關ノ検査ガ非常ニ困難デアル、隨テ密輸入ヲ頻繁ニ

行フ者ガ多クナッテ來マシテ、正當ナル營業者ハ、非常ニ困難ニ陥ル、是ハ御尤ナコトデアリマシテ、隨テ割合ニ低稅ガ課セラレテ居ルノデアリマスガ、替澤稅ノ關係カ

ラ矢張十割ノ關稅ト云フコトニナッテ居リマスノデ、替澤稅ヲ置イテ居リマス間ハ、密輸入ニ付キマシテハ、出來ルダケノ手段ヲ講ジマシテ、之ヲ防遏スルト云フ方法ヲ執ルヨリ致方ガナイカト考ヘラレマスルノデ、此點ニ付キマシテハ、十分注意ヲ致シマシテ、密輸入ヲ防止致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今日御承知ノ通り、マダ國際貸借ノ改善モ十分ニ行ハレテ居リマセヌノデ、今後益、之ガ改善ヲ圖ル必要ガアリマスノデ、此貴石ノヤウナ物ニ付テハ、直ニ替澤稅率ヲ引下ゲルト云フコトハ、困難ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○志波主査 只今大藏書記官ヨリ説明ガアリマシタ日程第八ハ、一時中止致シテ置キマシタガ、引續イテ再ビ議ニ付シマス

○小久江委員 稅率ヲ十割ニ引上ゲタ此關稅收入ガ、從前ノ關稅收入ト比較シテ、増加シテ居ラヌト云フ紹介議員ノ御話ガアリマシタガ、政府ノ御調ハドウナッテ居リマスカ

○荒井大藏書記官 其點ニ付テハ十分調査シテ、後刻御答致シマス

○志波主査 只今ノ御尋ノ事ガハッキリシナクテモ、採決シテ宜シウゴザイスカ

○岡田委員 今ノ請願ニ關スル本當ニ大事ナ骨子ハ、只今小久江君ノ御尋ニナッタ事ダト思ヒマス、稅率ヲ増加シテモ、關稅收入

ガ同ジ事デアルトスレバ、隨テ益、密輸入ガ盛ニ行ハレテ來ルト云フ事ガ明ニナッテ來タト思ヒマスガ、ソレニ對シテ政府ガ相當ノ御調ガ付イテ居ラヌト云フコトデハ、本件ヲ審議スル上ニ於テ、大變不便デアルト思ヒマス、是ハ能ク御調ニナッテ、其數字ヲ出シテ貰フタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス

○斯波貞吉君 其數字ハ、當業者ニ於テ調べテ居ルノデアリマシテ、稅率ヲ増加シテモ、政府ノ收入ハ、殖エテ居ラヌノデ、ソレダケ密輸入ガセラレテ居ルノデアリマス、是ハ可ナリ重大ナル問題デアラウト、私ハ思ヒマスノデ、詰リ稅率ヲ増加スルト云フコトハ、密輸入ヲ増加スルダケデ、貴石ハ密輸入ノ仕易イ物ニナッテ居リマスノデ、密輸入ヲ防グ爲ニ稅率ヲ引下ゲルト云フ事ハ、甚ダ當ヲ得タ事デアルト思ッテ居リマス、請願者ノ趣意モ即チ其處ニアルノデアリマスカラ、政府ニ警告スル意味ニ於テ、是非御採擇ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荒井大藏書記官 大體調ハ出來テ居ルノデ、此處ニ持合セガナイノデアリマスカラ、早速申上ゲルコトニ致シマス

○志波主査 ソレデハ延期スルコトニ致シタイト思ヒマスガ、御異議ガアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○志波主査 ソレデハ延期スルコトニ致シマス、本日ハ是デ散會致シマス
午後零時十四分散會